

プレスリリース [令和4年6月3日]

(計1枚)

加賀市をはじめとした自治体の実績データを用いて AI化し開発された子どもの睡眠教育アプリ 「ねんねナビ」を全国で初めて本格導入します

加賀市は、令和2年8月から、金沢大学・大阪大学との共同研究により保護者と睡眠の専門家グループ(小児科医・臨床心理士・臨床発達心理士)との双方向コミュニケーションを可能にする「子どもの睡眠教育」アプリねんねナビの実証を行いました。この実証事業により、専門家の指導による睡眠習慣の改善の有効性が確認できました。

この成果をもとに加賀市をはじめ全国4自治体における実績データ(睡眠習慣、指導内容)を用いて、大阪大学大学院連合小児発達学研究科の監修の下、パナソニック アドバンステクノロジー株式会社の技術提供によりアプリのAI(人工知能)化がなされました。

子育ていちばんをめざす加賀市ではAI化されたアプリ「ねんねナビ」を全国自治体で初めて導入し、子どもの睡眠の質の改善による健やかな育ちと、養育者の育児ストレスの軽減を目指していきます。アプリの運用・事業展開はパナソニック アドバンステクノロジー株式会社が担当いたします。

ご多用中、誠に恐縮ですが、ぜひ積極的なご取材をよろしくお願いいたします。

○日 時 令和4年6月8日(水) 13:00～

○場 所 加賀市役所秘書課第一応接室

○出席者 パナソニック アドバンステクノロジー株式会社

総括部長 兼 イノベーション基盤開発室 室長 加藤 隆博 様

金沢大学 医薬保健研究域医学系 菊知 充 教授

金沢大学 子どものこころの発達研究センター 田中早苗 特任助教

大阪大学大学院 連合小児発達学研究科 谷池 雅子 教授

加賀市 宮元 陸 市長

○内 容 記者会見

1. 加賀市の取り組みについて

2. 令和2・3年度 実証事業 効果説明について

3. 「ねんねナビ」アプリ 概要について

4. 令和4年度 金沢大学との共同研究事業について

質疑応答

※ねんねナビは国立大学法人大阪大学の商標です。